

初等力学(偏微分が登場しない場合)の学習においては、関数概念に対して、「関数」という語を「 y は x の関数である」という風に使うタイプの理解をしていても、学習に支障は生じない。しかし、解析力学の理論は、関数は写像である、という認識に立脚しないと、正しく理解できない。深く考えない生徒は困らないかもしれないが、そういう生徒も、その事を知った方がよい。ただ受身で授業を聞いて分かった気に成るだけ(あるいは、理論を適用させる試験問題に答えるだけ)なら必要無くても、既成の理論を超えた新しい事を自分で能動的に考えるためには、既成の理論に対する正確な理解が必要に成るからだ。